

	変 更 後	変 更 前
3ページ、30 行から	カナダ産未承認遺伝子組換えナタネ(RT73 B. rapa)の検査 略 1.2.3. リアルタイムPCRを用いた定性PCR法(AB: ABI PRISMTM 7900) PCR用反応液の調製(ABI PRISMTM 7900) * 3 検体試料液(測定対象)の他に3 種の Control すなわち Non-Template Control (NTC) 1 ウェル分、B. rapa Positive Control 1 ウェル分およびB. napus Positive Control 2ウェル分についてもそれぞれ調製する。DNA 試料液の添加の際、NTC には水を、B. rapa Positive Control にはB. rapa標準プラスミドを、B. napus Positive Control には B. napus 標準プラスミドを、それぞれのウェルに2.5 μL、DNA試料液の代わりに添加する。	カナダ産未承認遺伝子組換えナタネ(RT73 B. rapa)の検査 略 1.2.3. リアルタイムPCRを用いた定性PCR法(AB: ABI PRISMTM 7900) PCR用反応液の調製(ABI PRISMTM 7900) * 3 検体試料液(測定対象)の他に2 種の Control すなわち Non-Template Control (NTC) およびB. napus Positive Control についてもそれぞれ2 ウェル分調製する。DNA 試料液の添加の際、NTC には水を、B. napus Positive Control にはB. napus 標準プラスミドを、それぞれのウェルに2.5 μ L、DNA 試料液の代わりに添加する。
5ページ、17 行から	略 1.2.4. リアルタイムPCRを用いた定性PCR法(ABI PRISMTM 7500) PCR用反応液の調製(ABI PRISMTM 7500) * 3 検体試料液(測定対象)の他に3 種の Control すなわち Non-Template Control (NTC) 1 ウェル分、B. rapa Positive Control 1 ウェル分およびB. napus Positive Control 2ウェル分についてもそれぞれ調製する。DNA 試料液の添加の際、NTC には水を、B. rapa Positive Control にはB. rapa標準プラスミドを、B. napus Positive Control には B. napus 標準プラスミドを、それぞれのウェルに2.5 μL、DNA試料液の代わりに添加する。	略 1.2.4. リアルタイムPCRを用いた定性PCR法(ABI PRISMTM 7500) PCR用反応液の調製(ABI PRISMTM 7500) * 3 検体試料液(測定対象)の他に2 種の Control すなわち Non-Template Control (NTC) およびB. napus Positive Control についてもそれぞれ2 ウェル分調製する。DNA試料液の添加の際、NTC には水を、B. napus Positive Control にはB. napus 標準プラスミドを、それぞれのウェルに2.5 μ L、DNA 試料液の代わりに添加する。
6ページ、15 行目から	略 1.3. 結果の解析と判定 B. rapa識別試験についてはEnd-point解析の結果により判定を行い、RT73検出試験については明確な増幅曲線の有無で判定を行う。B. rapaの混入が判断され、かつRT73が検出された場合のみ2の粒確認検査を実施する。 B. rapa識別試験のEnd-point解析結果で、DNA試料液のACCg8(VIC)の蛍光強度(2ウェルの結果の平均値)とB.napus Positive ControlのACCg8(VIC)の蛍光強度(2ウェルの結果の平均値)との比が2.04以上(ABI PRISMTM 7900)、1.40以上(ABI PRISMTM 7500)の場合、B. rapa が混入していると判断する。	略 1.3. 結果の解析と判定 B. rapa識別試験についてはEnd-point解析の結果により判定を行い、RT73検出試験については明確な増幅曲線の有無で判定を行う。B. rapaの混入が判断され、かつRT73が検出された場合のみ2の粒確認検査を実施する。 B. rapa識別試験のEnd-point解析結果で、DNA試料液のACCg8(VIC)の蛍光強度とB.napus Positive ControlのACCg8(VIC)の蛍光強度との比が1.25以上(ABI PRISMTM 7900)、1.27以上(ABI PRISMTM 7500)の場合、B. rapaが混入していると判断する。
9ページ、14 行目から	略 2.2 結果の解析と判定 各DNA試料原液における結果の判定は、B. rapa識別試験についてはEnd-point解析の結果により判定を行い、RT73検出試験については明確な増幅曲線の有無で判定を行う。 B. rapaであると判断され、かつRT73が検出された検体はRT73 B. rapa であると判定する。B. rapa識別試験のEnd-point解析結果で、DNA試料原液のACCg8(VIC)の蛍光強度とB. napus Positive ControlのACCg8(VIC)の蛍光強度(2ウェルの結果の平均値)との比が2.63以上(ABI PRISMTM 7900)、1.69以上(ABI PRISMTM 7500)で、BnC1(FAM)の蛍光強度とB. napus Positive Controlの蛍光強度(2ウェルの結果の平均値)の比が0.28以下(ABI PRISMTM 7900)、0.35以下(ABI PRISMTM 7500)の場合、そのDNA試料原液はB. rapaであると判断し、当該DNA試料原液のRT73の検出を確認する。	略 2.2 結果の解析と判定 各DNA試料原液における結果の判定は、B. rapa識別試験についてはEnd-point解析の結果により判定を行い、RT73検出試験については明確な増幅曲線の有無で判定を行う。 B. rapaであると判断され、かつRT73が検出された検体はRT73 B. rapa であると判定する。B. rapa識別試験のEnd-point解析結果で、DNA試料原液のACCg8(VIC)の蛍光強度とB. napus Positive ControlのACCg8(VIC)の蛍光強度との比が5.27以上(ABI PRISMTM 7900)、3.49以上(ABI PRISMTM 7500)で、BnC1(FAM)の蛍光強度とB. napus Positive Controlの蛍光強度の比が0.5以下(ABI PRISMTM 7900、ABI PRISMTM 7500)の場合、そのDNA試料原液はB. rapaであると判断し、当該DNA試料原液のRT73の検出を確認する。
	略	略